

介護部会 西ブロック会議 報告書

実施日 令和3年9月28日(火) 14:00～15:00

会議実施会場 WEB会議

参加人数 9施設 15名 参加
ヒューマンライフケア横浜、ハートケア横浜、スカイ、
ライフモア保土ヶ谷、ソフィア横浜、ハートケア横浜小雀、
千の星・よこはま、うららの里、リハパーク舞岡

議事項目 テーマ:加算(LIFE)について

LIFE加算の現状

A施設:科学的介護、リハビリ、自立支援、かかりつけ医、栄養マネジメント加算を行っている。他は検討中。水分摂取量の把握ができてなかったのその記録から始めている。

B施設:ライフの加算を取るところまでは稼働していない。導入は十一月の予定。

C施設:ライフを四月から加算を取得している。特に排泄、褥瘡の加算については記録を細かくとって家族への説明をしている。最初はリハビリに負担がいていたが部署ごとに分散して加算取得をスムーズに行えるように調整している。

D施設:自立支援、認知症の部分を介護が打ち込んでおり、他は移行中。

E施設:入所の方でライフ加算をとるようにしている。入力は部門ごとに分かれて行っている。現在使っている記録ソフトは使い勝手が悪く記録ソフトの見直しを図っている。自立支援はとっていない。排泄支援加算今回から取り始めた。

F施設:科学的介護加算、自立支援特進加算はケアプランに反映しているのでケアマネ主催のカンファレンスで全職種で評価しケアマネがライフに報告している。八割がたの加算が取れている。

G施設:四つの加算算定。入力は排泄に関しては排泄委員、褥瘡は褥瘡委員という形で行っている。自立支援が取得しづらく大変。

H施設:当施設では現在役職者にライフに関する勉強会を行った段階。

I施設: ライフが始まったころからエクセルで入力を行っていた。最近では記録ソフトのほのぼのNEXTがバージョンアップして少しずつそちらに移行している。

LIFEを導入してどんな問題があったのか

A施設: 現場での入力を行っていないのでケアマネに負担がかかっている。

B施設: 看護と介護がLifeへの入力をしている。介護現場ではワイズマンという記録ソフトでの評価からLifeでの評価に切り替え、あまり負担にならないようにしている。

C施設: 各ユニットに一台ずつしかPCが無く、時間を見つけて入力している。また、入所の段階で入力する事が増えたのでケアマネの負担が増えた。

D施設: スタッフによって考え方のレベルが違って実際に現場でやるにあたって混乱が生じている。

E施設: Lifeへの移行がそこまで進んでいない。看護やケアマネは入力しているが介護は少しずつ移行している。PCが一台ずつしかないので取り合いになっており、なかなか自分のところに回って来ず入力できない。

LIFEの周知はどのように行なったか

A施設: 事務長から役職者に勉強会。主任リーダーがフロアに持ち帰り。それだけでは広まらないので看護師さんに重点的に教えて看護師からも介護士に教える。また分からない人は事務所に直接聞きに来るようにという形をとった。

B施設: ケアマネを中心に進行。各部署長、グループリーダーが教わり、下の人に教えるという形で進行。

次回開催予定

令和3年12月2日14時

テーマ: コロナ対応、加算についての前二回の振り返り。